

4つの取り組み方針に基づく具体的な活動の中で優先的かつ注力して推進するものを「重点取り組み」として設定します。以下に5つの重点取り組みを紹介します。



省エネ型ライフスタイルの促進

私たちの家庭から排出される二酸化炭素は、品川区の排出量の約2割を占めています。家庭からの二酸化炭素の排出は、全国的に見ても家電の普及などによる便利な生活の実現に伴い増加してきており、削減に向けた取り組みの強化が必要です。

区民 の役割



- 地球温暖化対策に取り組むことの重要性を学びます。
- 省エネに向けて、日々のライフスタイルを環境に配慮したものに見直します。
- 自らの取り組みを踏まえ、周囲に活動を促すなど、環境に配慮した暮らしをひろめます。

事業者 の役割



- 従業員教育などにより、通勤時や生活の中での温暖化対策の実践を促します。
- 事業活動などによって得た省エネルギー活動等に関するノウハウを、区民に提供します。
- 自ら実践している自然エネルギーの導入や省エネルギーの取り組みを、見学会の開催などにより区民に周知します。

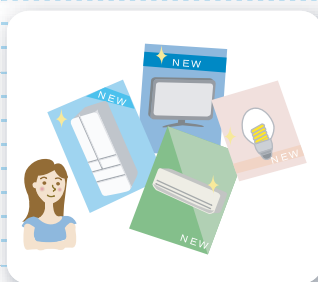
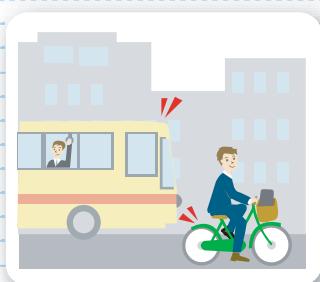
支 援

取り組みを
促進する

区民の役割



- 「しながわECO フェスティバル」での省エネライフのPR活動などにより、区民の環境に関する理解を深めるとともに、取り組みの輪をひろげます。
- しながわ版家庭ISOやマイバッグ運動などに関する情報やツールを提供し、区民の積極的な行動を促します。
- 省エネルギー型家電への買い替えを促進し、家庭の中での温暖化対策を図ります。
- 高効率型給湯器の導入を促進するなど、家庭の中での温暖化対策を強化します。
- 「白熱球一掃作戦」や「家庭の省エネ診断員制度」など、地球温暖化に関する東京都の取り組みと連携し、区民の省エネ取り組みを促進します。



区民の行動

- テレビをつけっぱなしにしません。
- エアコンの温度をこまめに設定します（冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低くします）。
- 食器を洗うときの給湯温度を下げます。
- 長時間使わない電器製品は、コンセントから電源プラグを抜きます。
- マイバッグを持ち歩き、省包装の商品などを選びます。
- 近所へは自動車を使わず、なるべく歩いて移動します。また、ルールを守って自転車を活用します。